



「前期試験」を終えて ～ 3年生から後輩へのメッセージ

3月1日に3年生99名が卒業していきました。その4日前2月25日に多くの国公立大学の個別学力試験前期日程が実施され、本校は、40名の生徒が受験しました。そして、27日に登校した際に、受験報告書とは別に、これまでを振り返っての感想、今後の決意、そして、後輩へのアドバイスを綴ってもらいました。その一部を紹介します。じっくりと読んで欲しいと思います。そして、先輩の想いを継いでください。

【Aさん】 私は前期試験を終えて、1年生のころからの勉強の大切さをとても感じています。部活動をしていたときは、疲れて宿題しかならない日があったり、宿題すら中途半端にしかしない日もあったりしました。その分の勉強を3年生になってから取り戻すのはとても大変でした。また、時間も足りず、しっかりと理解することができなかつた部分も残してしまいました。だから、受験生になったら勉強しようと思っている人は、今のうちからコツコツやっていた方が、後々楽になると思います。

【Bさん】 前期試験を終えた今、本当にホッとしています。センター試験が終わってから30日近く英語だけを勉強してきました。30日続けてこられたのは英語を学ぶのが好きだったからだと思います。好きじゃない教科ならきっと続けられなかったと思います。でも一日中英語をしていると、もう見たくないなあ～と思うこともありました。その時は気晴らしに読書をしたりしました。集中するときのスイッチの切りかえができたかなあと思います。

合否はまだ分かりませんが、受かっている落ちていても、やりきったので良かったです。後輩の皆さんも、後悔のないように頑張ってください。

【Cさん】 前期試験を終えた日、はじめに感じたのは家族や先生方などのこれまで支えてくれた人への感謝の気持ちでした。3年生になってからの1年間は頭の中にいつも受験のことがあり、好きなことをする時間も我慢しなければなりません。それは受験生としては当たり前のことですが、やはり受験も大詰めになるとあれがしたい、これもしたいという思いでいっぱいになってしまう事もありました。でも、いざ受験が終わると、今まで我慢してきたことのどれをしよう！という思いより、無事に終わるまで支えてくれた人達への感謝が自然と浮かんで来たことは、私が本当にたくさんの人にたくさんの応援をしてもらった証拠だと思いました。だから、これからの新しい大学生活でもそれを思い出して頑張ります。

【Dさん】 前期試験対策が始まってから、毎日1つ以上は1年分の過去問を解いて下敷領先生に添削していただきました。毎日時間をつくっていただいきとても感謝しています。しかし、毎日やっても本番では少し形式が変わっていただけでかなり焦ってしまいました。それでも何とか書ききることができたので良かったです。今後、中期と後期が続くので、体調管理には気を付けながら、できる限りのことをしっかりしていきたいです。後輩の皆さんには、第一に体調管理をしっかりすることが大切だと思います。一日が大切になるので欠席はもったいないと思います。自分次第でやれることは決まってくると思うので、積極的な姿勢でがんばってください。

【Eさん】 私は前期試験に向けての復習をセンター後に本格的に始めました。しかし、そこから復習を始めるのでは少しどころかなり遅いと思います。なぜなら、範囲が今まで習ったこと全てということだけでなく、当然ですが何の単元の問題が問われるかの予想がつかないからです。ゆえに、毎日の復習が重要と思いました。毎日の勉強に加えて復習を10分から15分程度すればセンター後にまとめて復習をしなくて済むだけでなく、自分が苦手としている内容が理解でき、そこだけを指導してもらえば良くなるからです。これを少し怠っていた私は、まとめて復習することになってしまい大変な思いをしました。毎日の宿題に加えて復習をすることは部活動生にとっては大変で時間がないかもしれませんが、あとで苦しまないためにもしっかり復習してください。

【Fさん】 自分は試験科目が英語・数学・物理の3教科で、その内で最も苦手な教科は物理でした。センター試験が終わり2次試験に向けて取り組むようになり、物理だけは特別に他の教科より多く時間を費やしました。教科書の最後のページにある各分野の公式を通学時間や休み時間などを使って覚えまくりました。そのおかげで、物理の授業でする各大学の2次試験の過去問で解ける問題が日々多くなっていきました。本番では、1つ目の数学が授業で取り組んだ問題と似た問題が多く出たのでとてもできました。2つ目は英語で、長文読解や英作文が授業のレベルとほぼ同じで自分なりにできました。最後の物理は、直前にした問題や基本的な問題が多く、今まで取り組んだ公式確認の効果がとてもでした。結果はまだ分かりませんが、とても楽しい一日でした。後期は1教科なので、残り2週間を費やして極めていきたいと思います。

【Gさん】 僕は2年生の夏休みぐらいから受験勉強をはじめたけど、一向に成績が伸びず、自分がいやになる毎日だった。二次試験を終えたとき、なんでこんなに成績を伸ばすことができなかつたんだろうと考えた。一つ目は、ただ勉強を何気なくするだけで完璧に理解するまで『考える』という作業がルーズになっていたのかもしれないと思った。2つ目は、『復習』がしっかりしきれていなかったと思った。一度やった問題は、復習したつもりなだけで、解けないということもたびたびあった。最後に、『学校を利用する』ということがうまくできていなかったと思った。分からないところを先生たちに聞きにいった解決するということがまず少なかった。以上のことが僕の反省点だ。これからの勉強ではこの反省点をいかして勉強したい。

以下は、多くあった感想・メッセージと特徴的なものを抜粋したものです。

- ・センター試験から前期試験までがとてもはやく感じた。
- ・1, 2年生からの積み重ねが大切だと感じた。基礎を固めておくべきだった。
- ・周りに知っている人がおらず、センター試験以上に緊張した。
- ・移動時間が長くて疲れた。
- ・移動時間を有効に活用できた。(復習できた。景色で気分転換できた。)
- ・試験会場の下見をしておいた方がよい。当日安心して受験できる。
- ・センター試験と個別試験を通して成長できた。
- ・小論文で受験すると思っていなかった。朝コラムをもっとしっかりとしておけばよかった。
- ・ホテルの予約をするのが大変だった。(コンサート等が重なっていたため)
- ・センター試験に悔いがある。後輩たちには、センター試験を大切にしたい。
- ・前期試験の試験科目が苦手科目のままになっていた。2年生までに克服しておくべきだった。
- ・私はヤル気のON/OFFが激しく、家ではあまり集中することができなかった。しかし、学校や図書館で勉強すると、周りの勉強している人を見て、よし、自分も！と頑張れた。自分の部屋で集中できないときは部屋を移動したり、眠たい時は仮眠したりするなど、無理せずできる方法を自分で見つけ、実践できた。人それぞれ、ヤル気スイッチは違うので、いろんなことを試して、自分のやり方を見つけてください！
- ・「どうしても答えられない」「無理だ」と思う問題に出会っても、あきらめず何か答える努力をするようにすると良いと思う。
- ・友達や先生、家族、帰り道に会う近所のおばさんなど、いろんな人に声をかけてもらうことで、「頑張ろう、あきらめたらだめだ」と思うことができ、日々勉強に励むことができました。
- ・後輩で小論文が試験科目に含まれている人は、日頃から新聞を読んだり、本を読んだりして知識をつけていた方がよいと思います。
- ・僕は受験校決定までの間、とても弱気になっていましたが、親や先生方に励まされて第一志望を諦めずに受験することができました。
- ・本番では実力の50%しか出せないといいますが(出せる人もいることはいる)、そのとおりになってしまいました。後輩には、万が一のことも含めてしっかり準備してほしいと思いました。
- ・私が受験した鹿児島大学は、ひねった問題より基本に忠実な問題の方が多いので、科目が3科目あるからといって敬遠する必要はないと思います。また、センター試験の配点が大きいので、苦手科目の勉強を怠ることなくまんべんなく勉強しておくことをオススメします。